



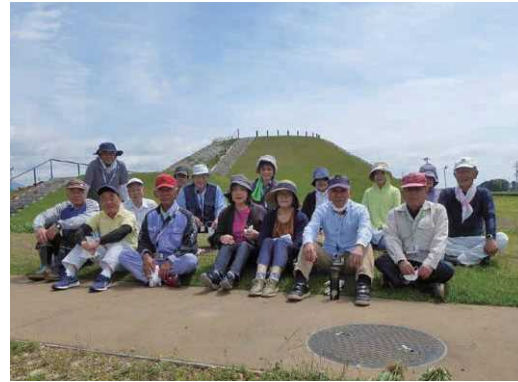
優秀賞 静岡県建築士会賞

茶畑に囲まれる和田岡古墳群 (掛川市)

受賞者 和田岡古墳群美化ボランティア「古墳スマイル隊」



アクセス 天竜浜名湖線細谷駅から徒歩約 25 分
 所在地 新東名「森掛川 IC」から車で約 15 分
 掛川市吉岡 他



史跡和田岡古墳群は、原野谷川が形成した和田岡段丘に点在する4世紀末から5世紀半ばにかけて築造された4基の前方後円墳と1基の円墳からなる古墳群です。古墳それぞれの形状や規模、出土遺物から築造年代が推定され、古墳群の変遷を追うことができ、東遠江において貴重な古墳群として、平成8年に国の史跡に指定されました。

古墳群の一つである吉岡大塚古墳は、令和5年11月に整備工事が完了しました。東から原野谷川を渡り、段丘を北に向かって登っていくと、広大に広がる茶畑と集落を目にすることができます。そして、県道掛川・山梨線からは、復元した吉岡大塚古墳の姿が、確認できます。豊かな自然環境の中で、1500年前に築造された古墳群は、

和田岡の人々に守られ、現在まで大切に保存されてきました。古墳と周辺の茶畑が織りなす四季の景観は、古代と現代がつながることでしか見ることができないもので圧巻です。

和田岡古墳群美化ボランティア「古墳スマイル隊」は、令和3年5月、地元中心に市内外の有志で結成されたボランティアグループです。「できる人が、できる時に、できることを」をモットーに、毎月1回の全体活動と、月2～4回の自主活動で、主に古墳と周辺の草刈りや除草作業を行っています。時には、見学団体のガイドボランティアや地元小学校の古墳学習会のサポート、古墳群の巡回点検に取り組んでいます。会員には月1回の広報紙を発行し、活動報告や地域の歴史を紹介し、古墳のあるまちの意識の向上を図っています。

審査委員より

原野谷川からの河岸段丘の地形を顕在化させ、風景一体に点在する古墳群は地学的な価値において貴重で、地域の歴史とも密接に絡み合い、ボランティア団体の除草作業や歴史の普及活動のモチベーションに結びついています。

吉岡大塚古墳では、モニュメンタルな形態と茶畑の伝統的な造形とが醸し出すハーモニーが、他にはない和田岡のアイコンとなっています。

祖先への追悼の思いと心情を子孫の代で景観として残し、次世代に伝えようとする活動は、歴史の再評価といえ、新たな地域性を創造しています。